



2018年9月14日

各位

会社名 国際紙パルプ商事株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 田辺 円
(コード番号：9274 東証第一部)
問合せ先 上席執行役員 経営企画本部長 小馬井 秀臣
(TEL. 03-3542-9925)

バイオマス発電所運転支援システムの開発決定に関するお知らせ

2018年9月14日開催の取締役会において、バイオマス発電に係る発電所運転支援システムの開発を開始することを決議いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. バイオマス発電所運転支援システム開発の背景と目的

当社は事業を通じて社会の環境課題を解決する「総合循環型企業」を目指しており、その地歩を固めるべく「サーマルリサイクル事業の強化」を掲げ、再生エネルギーに関わるバイオマス関連事業への取り組みを推進しております。

2016年には木質バイオマス発電事業会社であるバイオマスパワーテクノロジーズ株式会社（三重県松阪市）へ出資し、2017年よりバイオマス発電用燃料の販売を開始いたしました。これまでの営業活動を通じて明らかとなったバイオマス発電事業者が抱える全般的な課題解決を目的としたバイオマス発電所運転支援システムの開発及び販売体制の構築に着手することを決定いたしました。これにより、バイオマス発電市場における当社のプレゼンス向上を図ります。

2. バイオマス発電所運転支援システムの概要

当社が開発を目指す支援システムは、運転制御をはじめとするバイオマス発電所のオペレーション全体の支援を目的としております。また、IoTやAI等を活用した高度なシステムにより、発電所の維持管理コストの削減にも繋がります。

なお、開発にあたっては当社が出資するバイオマスパワーテクノロジーズ株式会社と連携いたします。また、大手システムベンダーと共同で開発を行う予定です。

3. 今後の見通し

当該支援システムの開発期間・販売時期については現時点では未定となります。開発期間・販売時期が明らかになりましたら、速やかに開示いたします。

また、当該支援システムの開発にかかる費用は今後の開発状況により変動するため、連結業績に与える影響は現時点では未定となります。連結業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

なお、2019年3月期に発生する開発費用については、2019年3月期連結業績予想に織り込んでおりませんが、本件による連結業績予想に与える影響は軽微であります。

以 上